

## 大阪自治労連の 災害支援ボランティア 3



2011・3・11  
東日本大震災  
(前編)

## 被災地に届けた「命の水」 給水タンク車が威力発揮



給水を待ちわびた人たちが笑顔で迎えて

堺市上下水道局は、震災翌日に被災地へ先遣隊を出発させ、道中でスタッドレスタイヤを調達して被災地向かいました。被災自治体で、給水タンク車2台、一班3人体制に分かれ給水作業を開始。宿泊地から給水場所まで別の乗用車で移動し、5月まで給水作業を続けました。

被災地の給水活動は、学校や公民館など避難所や個人住居など多岐に渡ります。高架タンクが設置された学校の屋上では、加圧ポンプ付き給水タンク車が威力を発揮しました。さらに、他のタンク車に補水が可能で、給水場所とタンク車の給水を往



タンク車に補水して縦横無尽な役割で

復し、もう一台のタンク車を給水場所に常時配置することができて、とても活躍してくれました。

被災直後でしたが、高性能な給水タンク車を含め2台を配置し、常勤職員6人の救援体制で給水活動ができたのはよかったです。

どんな災害でも対応するため、必要な支援体制と充実した装備を自治体が準備してきました。緊急の被災地支援として、一定の責任を果たすことができました。(堺市職労)

東日本大震災 2011年3月11日14時46分、三陸沖を震源とするM9.0の巨大地震が発生。東北から関東沿岸部に10m超の巨大津波、死者・行方不明者1万9000人超。福島第一原発事故を引き起こした未曾有の大災害。今年で15年目へ。「復興」には程遠く、地震大国に原発いらない。

## 16th Anniversary 「えい」が

### 一通の謎めいた手紙がもたらす 新たな決意の物語

1946年、戦後間もないローマで舞台に、家族から「無能」扱いされながらも逞しく生きる女性の物語。「ドマーニ」はイタリア語の「明日」の意。作品が描くのは希望です。

夫、息子、娘、義父と半地下の借家に暮らすデリア。些細なことで暴力を振るう夫イヴァーノ、意地悪な寝たきりの義父の仕打ちに耐えて家事と介護をこなし、家計を助けるため仕事を掛け持ちして働いていますが、僅かな稼ぎすら夫に取り上げられ、自由に外出することも許されません。市場で店を営む友人マリーザや、デリアに思いを寄せる自動車工ニーノと言葉を交わすときだけが安らげる時間です。

ある日、デリアの心を動かす出来事が起きます。一つは、デリア宛てに届いた手紙、彼女はそれを読んでポケット

トに隠しました。もう一つは、愛娘マルチエッタが裕福な家の息子ジュリアからプロポーズされたこと。でも、彼女の家族を自宅の昼食に招いたとき、デリアは彼の優しさの裏にある暴力性に気づき、娘に自分の二の舞は踏ませまい、と決意します…。

イタリアの人気女優でコメディアンのパオラ・コルテッレージが初監督し、自身が主演を務めた作品。モノクロ映像。筋の運びがうまく、何度も予想を裏切られました。当時の家庭や社会の女性差別の実態と女性の絶望感をリアルに表現しながら、随所に散りばめたユーモアと皮肉、軽快な音楽と映し方が悲惨さを和らげ、中でも、音楽とダンスで表現した暴力シーンの演出は見事です。

昨年6月公開。

## 「ドマーニ! 愛のことづて」

あなたの人生は  
明日からはじまる



## Culture Navi かるちがーナび

### 作りませんか



### はりはり漬

吹田市職労 山口 知夏さん

協力：現業評議会・給食部会



### 材料 (1人分)

- 切干大根10g、きざみ昆布1.5g
- A (酢4g、三温糖2g、濃口しょうゆ3g)

### 作り方

- ①切干大根、きざみ昆布は水で戻し、食べやすい大きさに切る。
- ②切干大根は柔らかくなるまで、きざみ昆布はさっとゆがく。
- ③②をAで和える。



## 心に響くひとこと

Don't give up,  
you still have us  
ピーター・ガブリエル  
(ロックミュージシャン)  
1950年～

「鉄の女」と呼ばれたサッチャー政権のもとで、多くの労働者が解雇され、鉱山や鉄道などが民営化された1980年代の英国。時の政権に抗議するとともに、「あきらめないで。あなたは一人じゃない。まだ、私たちがついているから」と、希望を失った労働者に寄り添い励ましたのがこの歌です。時は過ぎ、わが国にも初の女性首相が誕生。「全員に馬車馬のように働いていただきます」と表明し、労働者にいっそうの苦しみを押しつけることが懸念されます。圧倒的多数の議席によって何でもできるように見えますが、あきらめてはいけません。

## 今月の記念日

3月21日  
国際人種差別撤廃デー

1966年の国連総会で制定されました。1960年のこの日、南アフリカのシャープビルで人種隔離政策(アパルトヘイト)に反対する平和的デモ行進に対し警官隊が発砲し、69人が死亡する「シャープビル虐殺事件」が発生しました。この事件が、国連が人種差別に取り組み契機となったことから、人種差別撤廃のための記念日とされました。